

手続きガイド

時期	種類	手続き先	手続きに必要なもの	備考
お引越前	住居の解約手続き	不動産会社（家主又は管理人）		・賃貸契約書の内容をお確かめの上、連絡をお入れください。 ・賃貸物件の場合は最低1ヶ月前の解約手続きが必要です。
	転出届	市区町村役場 (14日前より当日まで)	印鑑	転出証明書が発行されます。
	印鑑登録、廃印届		・印鑑登録手帳 ・実印	代理人の場合は委任状が必要です。
	国民健康保険 (資格喪失手続き)		・健康保険証、印鑑 ・転出証明書	転入地にて取得手続きをします。
	国民年金（住所変更）		・国民年金手帳 ・印鑑、転出証明書	住所が変わっても手帳は変わりません。
	各種福祉関		・手帳、証明書等 ・印鑑	種類により手続きが異なる場合があります。
	転校届	在学校		・学校、自治体によって手続き方法が異なる場合があります。 ・早い日に問い合わせをしましょう。
	電話、インターネット ケーブルテレビ、光回線	契約している電話会社、 プロバイダー	請求書（領収書）など (電話番号やお客番号 ID 必須)	・NTT は 116 番へお掛けください。(土日も受け付け OK) ・土曜、日曜、祝日の工事はできません。移転先での電話 工事には予約が必要です。なるべく10日前までに。
	電気、ガス、水道	検針票（請求書）に記載されて いる電話番号へ	検針票（請求書）に記載されて いる電話番号へ	・料金の精算は引越当日までにします。 ・引越当日からすぐに使用できるように前もって転居先の 営業所に連絡しておく事をお勧めします。
	郵便物の転送手続き	転出地の受持ち局	印鑑	・引越後1年間は転送してもらえます。 ・インターネットでの手続きもできます。
	預貯金の住所変更	各銀行、郵便局	通帳、印鑑	
	新聞、牛乳、米屋、酒屋、 クリーニング店など	取引商店		未払い金の精算もしておきましょう。
お引越後	運転免許証の住所変更	・転入地の所轄警察 ・交通課	・免許証、新住民票 ・写真	同一県内での移転の場合は写真は不要です。
	・転入届 ・印鑑再登録 ・国民健康保険手続き ・国民年金住所変更手続き	・転入地の市区町村役場 (引越日より14日以内で)	・転出証明書、印鑑 ・実印 ・転入証明書 ・国民年金手帳	・本人確認のできる物を持参してください。 ・転入証明書、新住民票を発行してもらいます。 (諸手続きに必要な場合のために)
	転入学届	転入希望校	・転入届 ・転学証明、在学証明、成績証明 単位取得証明、新住民票 ・前校の書類と転校紹介書	
	畜大登録	転入地の市区町村役場	・予防注射済証 ・印鑑	新鑑札を発行してもらいます。
お引越後 15日以内	【車】に関する届出 ・車庫証明 ・自動車、バイク ・軽自動車	・車の保管場所を管轄する警察署 ・新住所を管轄する運輸支局 または自動車検査登録事務所 ・新住所を管轄する軽自動車検査協会の事務所または支所	・警察署で申請書類を入手する。 ・所在図、配置図、承諾証明書（自認書）など。 ・車検証、使用者の住所を証する書面、印鑑、自動車保管場所証明書 (発行後概ね1ヶ月以内のもの)等	

その他の手配もしておきましょう

- 1 貸し借り物の整理
- 2 挨拶状の印刷
- 3 遠隔地への転居なら乗車券の購入
- 4 引越先での挨拶回りの品物の準備

無料

お引越後のダンボール回収サービス



- ・荷ほどきがすべて終わりましたらご連絡ください。
- ・一部地域においては回収できない場合がありますので
予めご了承ください

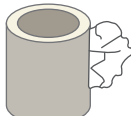
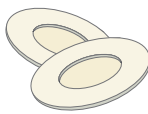
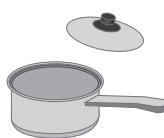
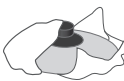
ご近所への挨拶は早めにしましょう

..... 荷造りガイド 01

失敗しない包み方・詰め方

特に食器類や人形は輸送中に割れやすいものです。食器類の梱包は下記を参考にしましょう

ここがポイント! 食器の包み方

カップ類  ①  まず把手の部分を紙で包んでください。 ②  次に全体を紙で包んでください	グラス類  ①  まず細い部分を紙で包んでください。 ②  次に全体を紙で包んでください。
お皿  ①  1枚ずつ包んでください。	蓋つきの物  ①  まずフタの部分を紙で包んでください ②  次に全体を紙で包んでください ③  フタを逆さまに重ねて一緒に包みます。

お引越しがスムーズにいくポイント

1

こわれものが入っている箱には、「われもの」と大きく書きましょう。



2

本は入れすぎないように、ダンボールの6~7割までで抑えましょう。



3

詰め物は隙間のないように詰めましょう。詰め終わったら、ダンボールを持ち上げてカチャカチャ音がしないか確かめましょう。音が聞こえるようであれば新聞紙等を隙間に詰めて固定させましょう。

4

すぐに使う日用品・食器等は「すぐ使うもの」と書いた箱にまとめて入れましょう。掃除用具などはマイカーに乗せて運ぶと便利です。それができない場合は引越し業者にすぐに下ろしてほしいと伝えておきましょう。

5



ダンボール上部、側面に内容物(服、食器、本等)と行き先(2F洋室、1Fキッチン等)を書いて、荷物の迷子がないようにしましょう。

ダンボールの組み立て方

本、書類、ビン類など重いもの



底を十字にガムテープを貼って補強します。ダンボールを、互い違いにクロスさせる組み立てはしないでください。ねじれる動きにとっても弱く底が抜ける危険も高くなってしまいます。

one point

- 重いものは小さな箱に
- 軽いものは大きな箱に



ケース別上手な荷造りポイント

カンタンで作業も楽ちんな荷造りのポイント！

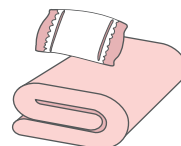
1 衣類の場合

LダンボールやハンガーBOXで梱包してください。和服は和服用ケースをご使用ください。プラスチック製衣装ケースの衣類は入れたままです。



2 ふとん・座布団

専用ケースや布団袋にいれてください。袋がない場合は、引っ越し用の布団袋のご用意が出来ます。



3 靴

箱が残っている場合は詰め直し、3〜4足分をひも掛けします。箱がない場合は、底のつま先とかかと側を交互にして合わせてから、詰めましょう。



4 本

Sダンボールにお入れください。書籍等は非常に重くなります。ダンボールの6〜7割程度を詰める目安にしてください。



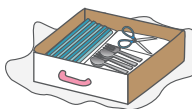
5 食品

冷凍食品や生ものは引っ越し日までに消費されるか、クーラーBOXをご用意ください。米びつの米はビニール袋などに詰めなおし、ダンボールに入れてください。



6 引き出しの中身

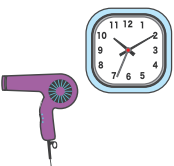
食器棚などの小型の引き出しは、中のものが動かないように固定してからエアークャップやタオルなどで引き出し全体を包みましょう。収納が楽になります。ただし壊れ物は避けましょう。



7 小型電気製品

こわれもの

購入時の箱が残っているものは入れてください。時計・置物・その他は緩衝材・エアークャップで全体を包みダンボールに入れます。



8 ビン類

こわれもの

使いかけのものは、口の部分にビニール袋を巻き輪ゴムで止めます。密閉できないものは空にしてください。Sダンボールに大きめのビニール袋を入れてから新聞紙などで一本づつ包み、立てて入れます。



9 植木鉢

こわれもの

Lダンボールで梱包してください。前日から水を切ってください。ダンボールに大きめのビニール袋を入れてから鉢を入れると良いでしょう。陶器の鉢は新聞紙などで包んでから並べてください。



10 人形ケース

こわれもの

人形の首や手などの細い部分はティッシュペーパーや柔らかい紙を巻いて補強しましょう。外れるパーツなどがあるものは、全体をエアークャップで包み小さな箱に入れるか、ケースの中で人形が動かないように紙などを軽く丸めて詰めます。ケース全体は、エアークャップで包みダンボールに入れます。



※新聞はインクの汚れが付く場合がありますので使用しません。

11 食器類

こわれもの

緩衝材で1枚づつ包み、Sダンボールにお皿は立てて入れてください。大皿や土鍋などはエアークャップで梱包しています。

